

TOYO ELECTRIC CORPORATION



電子の夢を創る

東洋電機株式会社

証券コード：6655

第78期 報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

目次

トップインタビュー

**変革の手をゆるめず、
100年続く企業集団へ p1**

中長期経営計画について p4

セグメント別概況 p5 連結決算概要 p7

社員インタビュー p9 会社概要 p10

変革の手をゆるめず、100年続く企業集団へ

株主の皆様には日頃のご支援に心より感謝申し上げます。さて当社第78期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）を終了いたしましたので、報告書をお届けいたします。

当期は依然として受注環境が厳しく、売上、利益とも計画を下回る結果となりました。市場開拓部門による新規顧客開拓などで成果が生まれたものの、引き続き“変革への挑戦”を掲げ、社会の変動に耐えうる事業基盤の確立に取り組んでまいります。株主の皆様には引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

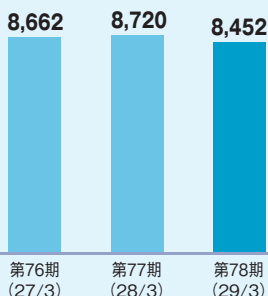
代表取締役社長
松尾 昇光



連結決算ハイライト

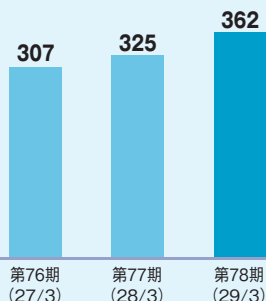
売上高

(単位:百万円)



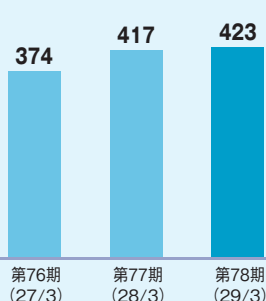
営業利益

(単位:百万円)



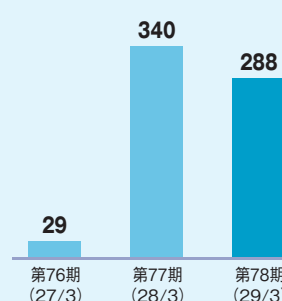
経常利益

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



Q 景気の先行きを読むのが難しい状況ですがこの1年はいかがでしたか。

A 企業の生産設備投資に改善は見られたものの、価格競争が激化した状態でした。国内では市場開拓部門を中心に成長市場や新規分野への営業を進め、海外でも製品の拡販に努めてきました。売上高で前期を下回ったものの、原価低減などの努力により営業利益と経常利益は増益となりました。当期は公的機関からの開発助成金が剥落し、厚生年金基金解散に伴う特別利益も減少したため、当期純利益は前期を下回りました。

Q 国内の主要事業の動きについてもお聞かせください。

A 制御装置関連事業の売上高は、変圧器部門が好調だったものの、エンジニアリング部門と機器部門が減少しました。

エンジニアリング部門は、通販向けの需要増に対応する搬送制御関連が当期は需要が一巡し、反動減となりました。印刷制御装置はデジタル印刷関連向けの需要が縮小、配電盤はモータ制御の需要が減少し、監視制御装置は工業用コンピュータ

関連の需要が拡大し増加しました。

機器部門は、国内のエレベータ市場が成熟期に入り、安全装置関連のセンサの需要は縮小しました。空間光伝送装置分野は自動車関連工場のFA向けの需要が伸びたものの、表示器分野は減少しました。

変圧器部門は、クラウド関連の需要増によりデータセンター向けが拡大しました。防災無線用の耐雷変圧器は微増となりました。防災無線の需要は国土強靱化の動きが後押しし、北海道から九州・沖縄まで手堅い需要が見込まれます。

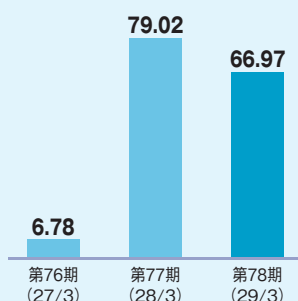
樹脂関連事業の売上高は、自動車関連の新規の顧客開拓が爽り、新素材部品の需要が伸長しました。

Q 海外での動きは順調ですか。

A 中国内陸部や東南アジア諸国でビル建設が続いており、エレベータセンサの需要は拡大しています。当期は、南京華洋電気有限公司の中国国内向け販売が好調だったほか、タイ トーヨーエレクトリック株式会社は量産化が軌道に乗ったことで初の黒字化を達成しました。タイ子会社の課題は製品の地産地消です。中国や日本から部品を供給してきましたが、今後は部品の現地調達比率を高めていきます。当期は為

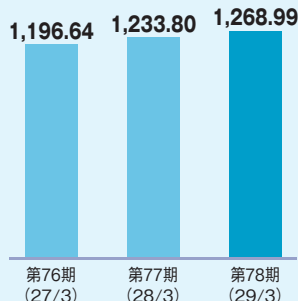
1株当たり当期純利益

(単位:円)



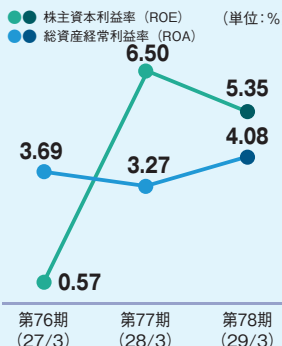
1株当たり純資産額(BPS)

(単位:円)



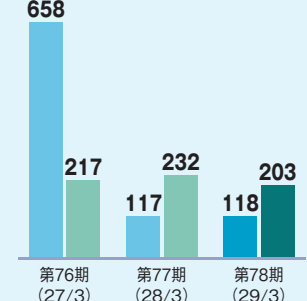
株主資本利益率(ROE)/総資産経常利益率(ROA)

(単位:%)



設備投資額/減価償却費

(単位:百万円)



(注) 当社は、平成28年10月1日付で普通株式2株を1株の割合で株式合併を実施しております。これに伴い、1株当たり当期純利益および1株当たり純資産額につきましては、第76期連結会計年度の期首より当該株式合併が行われたと仮定し算定しております。

替が円高に振れたため、海外の売上は、邦貨換算で前期をやや下回っています。

Q 成長市場や新規事業分野への営業開拓のごたえはいかがですか。

A 市場開拓部門を中心に成長市場や新規分野への営業を強めています。新しいお客様に触れて思うのは、「こんなこともやっている、こんなこともできる」という当社の実態が必ずしも伝わっていないというもどかしさです。営業だけでは技術の説明は難しいので、各事業部門とも相談して同行してもらうこともあります。

今期は市場開拓部門をさらに強化するため、国内の3つの事業部門から各1名を市場開拓部門に配置しました。お客様との接触を通して営業感覚を磨くとともに、いつか事業部門に戻ってその経験を活かして欲しいと考えています。当社のお客様は単なる製品の納入先ではなく、大切なビジネスのパートナーです。しっかりお付き合いをし、良好な関係を維持していかなければなりません。

Q 営業を後押しする新技術、新製品の開発に向けた取り組みについてもお聞かせください。

A 研究開発は、国内制御装置関連事業と樹脂関連事業が主体となり、事業戦略に合致した新市場への新製品開発を推進し、テーマごとに優先度を検討して進めています。新製品の市場投入までのリードタイムはどんどん短くなっています。これまでは自前主義で取り組んできましたが、外部の知恵や技術を導入して、双方にメリットのあるWIN-WINの関係を構築し、成果につなげていきます。

最近の研究成果に、光伝送装置があります。超高速のデータ通信装置の開発が最終段階に入っており、この4月に東京ビッグサイトで開催された「映像伝送EXPO」に出展し、反響をいただきました。また、物流をサポートする自走ロボットの開発にも着手しています。



Q “10年先、20年先も勝ち残れる企業集団”の実現に向けた抱負をお願いします。

A 当社は昭和22年の会社設立から、今年で70年となります。70年は節目ですが、通過点に過ぎません。真の目標は“100年続く強固な企業集団”です。それには変革に挑み続けることのできる従業員を一人でも多く育てなければなりません。従業員からすれば、“働かされている”という意識がもたれませんが、自ら“目標を持ち、生きがいを育てる”ことができれば、仕事はもっと面白くなり、自身の成長にもつながります。

当社は、事業の継続的かつ健全な発展を目指すため、本年度から始まる3ヶ年に向けた「中長期経営計画」を策定しました。
① 製品と市場の展開、② 収益性とキャッシュ・フロー改善、③ 技術と開発、④ 人財育成と環境改善の4つを柱に、改革・改善に向けた諸施策を一層進めます。 [詳細はP4参照](#)

なお、当期はホームページを一新しました。東洋電機が参加する展示会やイベント情報なども積極的に発信します。ぜひ一度ご覧ください。

当社は、昨年10月に株式2株を1株に併合すると同時に、売買する単元株を1,000株から100株に変更しました。それに伴い、株主優待制度についても1,000株でクオカード1,000円分から100株でクオカード1,000円分に見直しを行いました。現在、個人投資家様の数はかなり伸びています。売買高も伸びてほしいと期待しています。株主の皆様のご期待に一歩ずつ応えることで、信頼を持続し、末長くご支援を賜りたいと考えています。

中長期経営計画について

■ 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、各事業部門の売上拡大、より強固な経営基盤の構築、人を活かした経営の推進により「成長性」「収益性・効率性」「人財の育成」を柱としたバランス経営を推進し、事業の継続的かつ健全な発展を目指してまいります。

平成29～31年度 3ヶ年経営基本方針

"事業の継続的かつ健全な発展を目指す(事業基盤の強化)"

- 「成長性」 ▶ 各事業部売上規模の拡大 …………… 市場環境に対応した事業活動の推進
- 「収益性・効率性」 ▶ より強固な経営基盤の構築 …………… 資本効率の向上、適正利益の確保
- 「人財の育成」 ▶ 人を活かす経営の推進 …………… 明るく、活力に満ちた、働き甲斐のある職場づくり

① 製品と市場の展開

事業戦略に合致した新製品の投入、国内成長市場への新規・深耕開拓、海外市場における在外子会社（南京華洋電気有限公司、Thai Toyo Electric Co.,Ltd.）との連携強化、コア技術の成長と発展により売上拡大を目指してまいります。

② 収益性とキャッシュ・フロー改善

生産技術レベル向上による原価低減、原価低減につながる製品改良や新製品開発の推進、生産活動や営業活動の見える化の推進により収益性の向上を目指してまいります。また、在庫管理の適正化や生産リードタイムの短縮により経営体質の強化に努めてまいります。

③ 技術と開発

コア技術製品の競争力強化や新技術製品開発ができる開発体制の整備、戦略的な知的財産マネジメント、オープンイノベーションの活用による新製品のリードタイム短縮により全社的な技術レベルの向上に努めてまいります。

④ 人財育成と環境改善

ダイバーシティの取り組み推進により働き甲斐のある職場環境を整備し、将来を担う人財の育成や技術の伝承を推進してまいります。内部統制システムやリスク管理体制を充実し、コーポレートガバナンスとコンプライアンスの徹底、法令遵守の労務管理と安全衛生活動の啓蒙を進めてまいります。また今後、健康経営手法の導入を検討してまいります。

■ 目標とする経営指標

当社グループは、適切な利益を安定的に確保するために、経営体質の強化を推進し、企業価値を高めることを重要な経営目標としています。

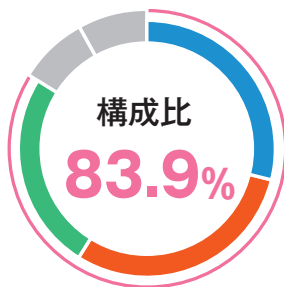
この目標を達成するために、売上高、経常利益、総資産経常利益率（ROA）を重要な経営指標と位置づけしており、数値目標を以下のとおり設定しています。

	平成30年3月期 計画	平成31年3月期 計画	平成32年3月期 計画
売上高（百万円）	9,061	9,913	10,864
経常利益（百万円）	435	498	603
総資産経常利益率（ROA、%）	4.6	5.1	5.6

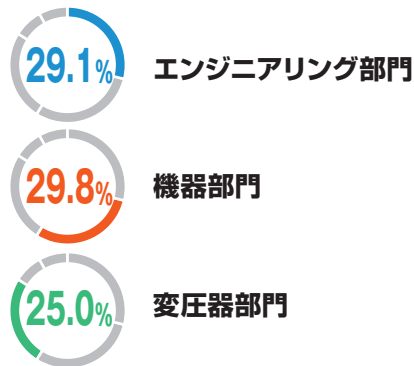
I. 国内制御装置関連事業

売上高 **7,093** 百万円
前期比 4.5%減

国内制御装置関連事業は、当社グループの中核事業として、日本国内を中心に事業展開しております。当事業は3部門から構成されており、その内変圧器部門の売上高は増加したものの、エンジニアリング部門ならびに機器部門の売上高が減少したことにより、売上高は7,093百万円（前期比4.5%減）となりました。



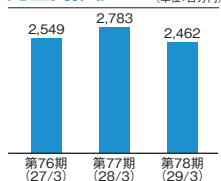
内 訳



エンジニアリング部門 売上高 **2,462** 百万円 前期比 11.5%減

エンジニアリング部門の事業は、業種業界ごとに異なる制御システムを提供しております。当事業の内、監視制御装置分野は増加したものの、搬送制御装置分野や印刷制御装置分野が減少したことにより、売上高は2,462百万円（前期比11.5%減）となりました。

売上高推移 (単位:百万円)



鉄道関連製品「無人駅高声電話機」

主要製品

- オンデマンドフォーム印刷機電装品
- インテリジェント多機能リレー (IPR)
- 省記線型搬送コントローラ (MRC)
- 宛名紙印刷搭載機

機器部門 売上高 **2,517** 百万円 前期比 1.7%減

機器部門の事業は、光技術を応用した様々な産業設備用機器を自社開発し、自社製品として提供しております。当事業の内、空間光伝送装置分野は増加したものの、センサ分野や表示機器分野が減少したことにより、売上高は2,517百万円（前期比1.7%減）となりました。

売上高推移 (単位:百万円)



空間光伝送装置

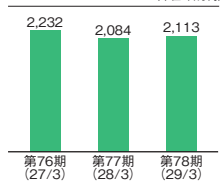
主要製品

- 空間光伝送装置
- エレベータ・エスカレータ関連機器
- 交流電力調整器
- 情報表示器

変圧器部門 売上高 **2,113** 百万円 前期比 1.4%増

変圧器部門の事業は、当社が設立以来営んでおり、受配電用変圧器から機械設備用変圧器などを提供しております。当事業は、データセンター向けの需要が拡大したことにより、売上高は2,113百万円（前期比1.4%増）となりました。

売上高推移 (単位:百万円)



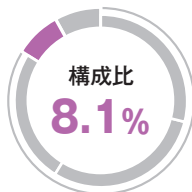
乾式変圧器 TKHⅢシリーズ

主要製品

- 乾式変圧器
- 耐雷変圧器
- モールド変圧器
- 始動リアクトル

Ⅱ. 海外制御装置関連事業

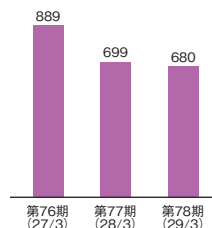
売上高 **680** 百万円
前期比 2.7%減



海外制御装置関連事業は、当社グループの海外企業2社が事業を展開しており、中国南京市にある南京華洋電気有限公司は、中国国内向け盤関連製品の製造販売や、中国国内やタイ王国などに向けたエレベータ関連センサの製造販売を行っております。またタイ王国にあるThai Toyo Electric Co.,Ltd.は、南京華洋電気有限公司から輸入したエレベータ関連センサの組立・検査・販売を行っております。

当事業は、アジア市場を中心にエレベータセンサの需要が拡大したことにより現地通貨ベースでは増収となりましたが、円高による為替影響により、売上高は680百万円（前期比2.7%減）となりました。

売上高推移 (単位:百万円)



主要製品

- 盤関連製品
(南京華洋電気有限公司のみ)
高圧受配電盤
コントロールセンサ
PLC応用制御盤



C型コントロールセンサ

- エレベータ関連製品
(南京華洋電気有限公司と
Thai Toyo Electric Co., Ltd.)
マルチビームセンサ
かご位置確認用センサ



エレベータセンサ
「かご位置確認用センサ」

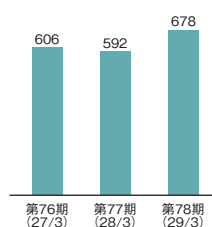
Ⅲ. 樹脂関連事業

売上高 **678** 百万円
前期比 14.5%増



樹脂関連事業は、当社グループの東洋樹脂株式会社が開展している樹脂リサイクル事業です。当事業は、自動車関連部品材料の需要拡大や新規客先の開拓により、売上高は678百万円（前期比14.5%増）となりました。

売上高推移 (単位:百万円)



主要製品

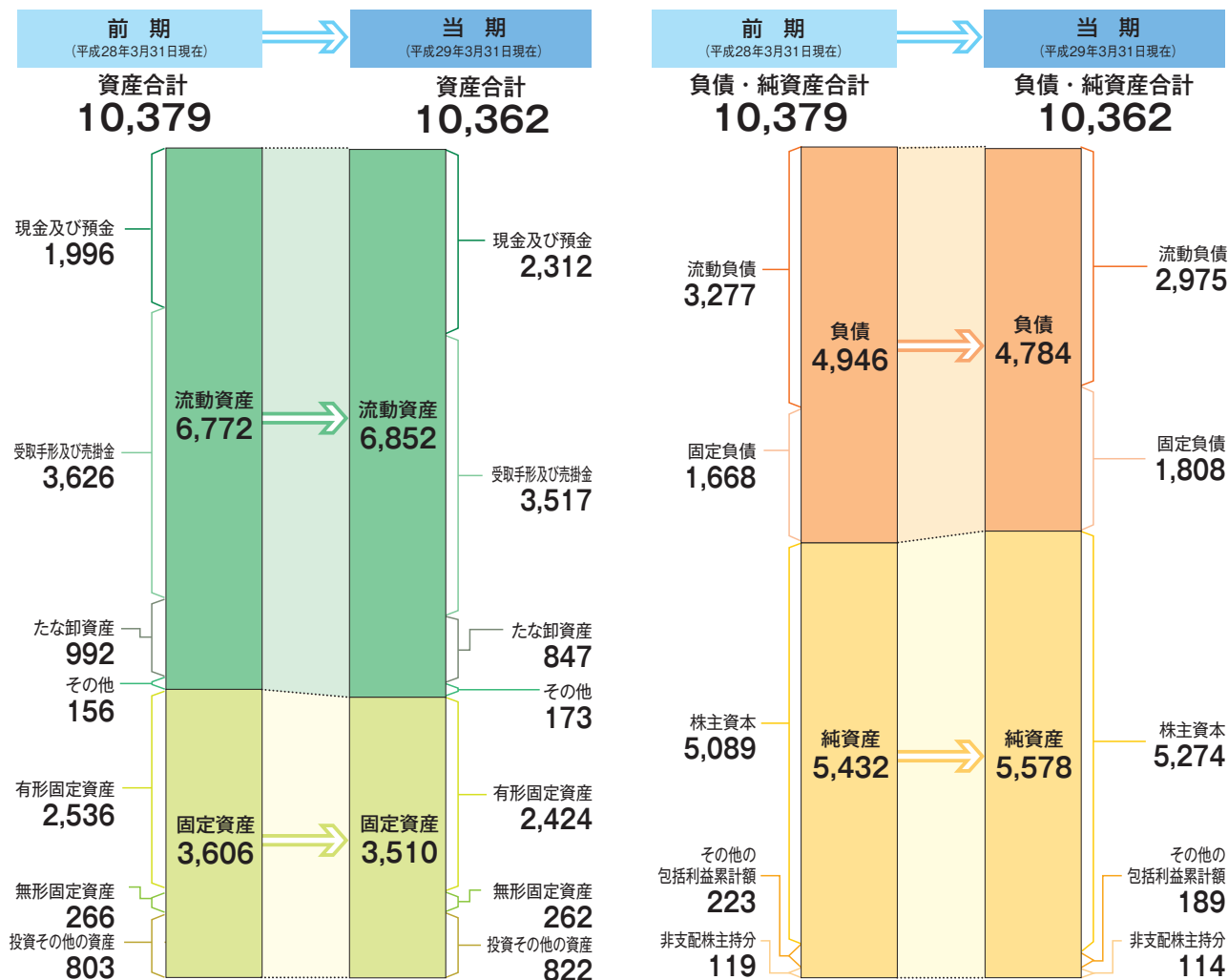
- 廃プラスチックのリサイクル
- リサイクル樹脂ペレットの生産・販売
- プラスチックのコンパウンド受託加工
- 樹脂パウダーの生産



樹脂ペレット

連結決算概要

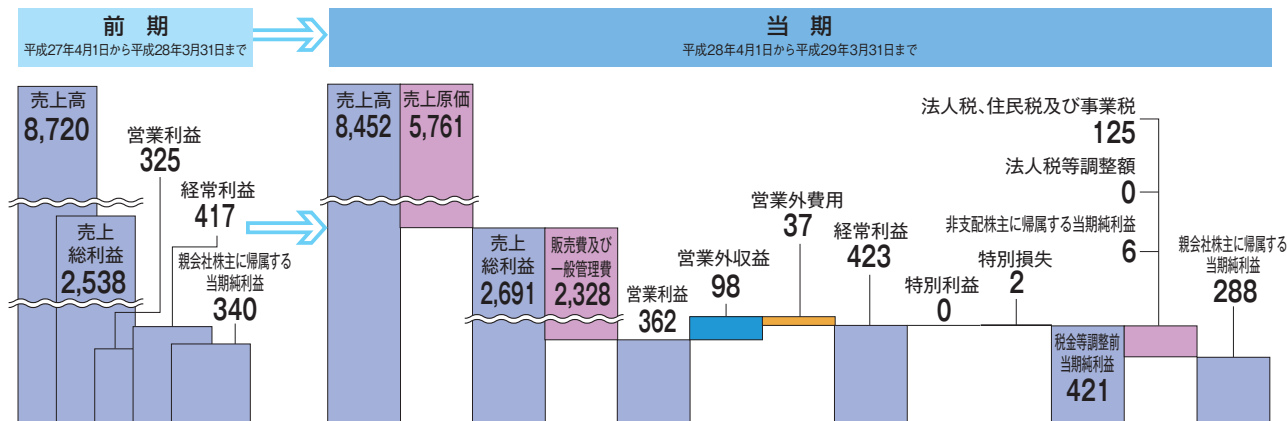
連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



POINT

総資産は、現金及び預金が増加したものの、在庫削減活動に伴うたな卸資産および有形固定資産が減少したことなどにより前期末比16百万円減少し、負債は、長期借入金などの固定負債が増加したものの、短期借入金など流動負債が減少したことなどにより前期末比162百万円の減少となりました。なお、純資産は、為替換算調整勘定が減少したものの、利益剰余金の増加などにより前期末比145百万円増加しました。

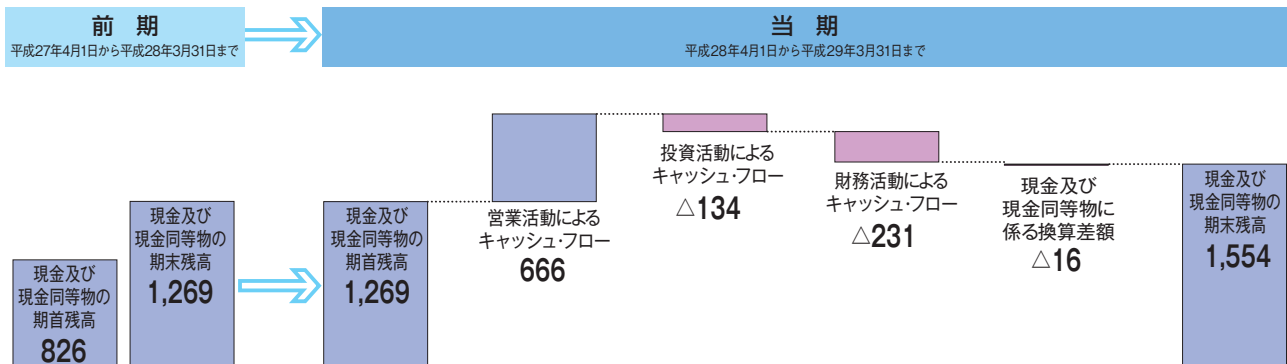
連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



POINT

当期は、新技術開発など売上拡大に向け、新たな事業基盤の構築に積極的に取り組みました。売上高は、エンジニアリング部門ならびに機器部門の売上低調により3.1%減収となりました。利益面では、販売費及び一般管理費が増加したものの、原価低減により営業利益は前連結会計年度比11.5%増、営業外収益に開税還付金計上の増加などにより、経常利益は前連結会計年度比1.3%増加となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、昨年度計上した厚生年金基金解散損失引当金戻入額の減少などにより、前連結会計年度より15.3%減少となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



POINT

当期の現金及び現金同等物は、前期末に比べ284百万円増加し1,554百万円となりました。営業活動の結果得られた資金は、たな卸資産や売上債権の減少などにより666百万円となりました。投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出などにより134百万円となりました。財務活動の結果使用した資金は、配当金の支払などにより231百万円となりました。

Interview

新たな成長の原動力となるよう、東洋電機でも多様な人材の登用が始まっています。今回は、4月1日付で係長に昇進した3名の女性に抱負を聞きました。



安江 琴子さん
経営管理本部総務部総務課係長

加藤 裕美子さん
エンジニアリング事業部管理部資材課係長

福徳 真由子さん
経営管理本部経理部財務課係長

女性の力で企業を元気に。多様な声で明日の成長を描く。

Q 4月1日付で係長に昇進されたそうですが、皆さんの仕事ぶりから紹介ください。

加藤 入社して23年目になります。当初は技術部で設計のアシスタントとしてCAD（コンピューターを活用して機械などの設計・製図を行う機器）システムを使ってトレースなどを行っていました。3年前から資材に移り、資材調達に絡む納期や金額の交渉窓口を担当しています。

安江 総務部で会長の秘書をメインに、グループの協力企業協働組合の事務局も務めています。入社して19年目になります。

福徳 私は3人の中では唯一中途採用で入社しました。今年で9年目に入ります。経理部財務課で請求書を発送し、入金の確認までを行っています。また、手形作成のほか、社員の旅費などの精算業務も担っています。

Q あなたにとって仕事とは……。

福徳 この会社に入ってから2人の子供の母親になりました。現在、子育て中で皆さんよりも1日2時間少ない時短勤務で仕事をしています。家族のために働いているという意識とともに、自分ができることは精一杯やりたいと思っています。

安江 平日はほとんど仕事中心の毎日です。土日イベントなどの手伝いに出ることもあります。私はクルマで片道1時間ほどかけて通勤していますが、それが一番リラックスできる時間かもしれません。

加藤 生活の大半を占めています。資材の調達が円滑に進まない、生産工程にも影響が出ますから……。生産部門の納期に影響が出ないように、調達先との交渉を行っています。

Q 入社時といまでは会社も変化しているのではありませんか。

加藤 設計では、女性はあくまでも補助的な役割でした。でも、いまは仕事の中身も変わり、資材では責任をもつようになりました。責任をもつのはしんどいという意識とともに、責任がないとやりがいもないとも思うようになりました。

福徳 経理の仕事は初めてでした。最初は知識がないのでしり込みしていましたが、いまは法人税など税の控除などの知識も少しずつ付いてきました。この頃は、もう少し勉強したいと考えようになりました。

安江 男女の役割の違いはあると思いますが、その役割も少しずつ変化していると思います。かつては女性の係長はたしか2人だけでしたから……。

会社概要

▶ 会社の概要 (平成29年3月31日現在)

商 号	東洋電機株式会社
設 立	1947年(昭和22年)7月
資 本 金	10億3,708万円
本 社	〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156
神 屋 工 場	〒480-0393 愛知県春日井市神屋町字引沢1-39
営 業 所	東京、名古屋、大阪
関 係 会 社	東洋樹脂株式会社 (愛知県小牧市) 東洋電機ファシリティーサービス株式会社 (愛知県春日井市) 東洋板金製造株式会社 (愛知県春日井市) 南京華洋電気有限公司 (中華人民共和国江蘇省南京市) Thai Toyo Electric Co., Ltd. (タイ王国チョンブリ県)
主要取引銀行	百五銀行、商工中金、三井住友銀行、 名古屋銀行
従 業 員 数	225名(連結496名)

▶ 役員 (平成29年6月20日現在)

代表取締役会長	松 尾 隆 徳
代表取締役社長	松 尾 昇 光
専 務 取 締 役	松 村 和 成
常 務 取 締 役	丹 羽 基 泰 本社・国内子会社担当
常 務 取 締 役	奥 村 光 宏 事業部担当南京華洋電気有限公司総経理
取 締 役	加 藤 信 社長付特命事項担当
取 締 役	加 藤 茂 男 エンジニアリング事業部長
取 締 役	鈴 木 庸 史 経営管理本部長兼企画部長
取 締 役	井 澤 宏 機器事業部長
取締役(監査等委員)	森 正 一
取締役(監査等委員)	有 賀 重 介
取締役(監査等委員)	葛 谷 昌 浩

(注)取締役有賀重介および葛谷昌浩の各氏は、社外取締役であります。

Q 仕事で失敗した経験はありますか。

福德 入社したてのころ、お客様からいただいた受取手形に日にちが入っていなかったため、こちらで入れようとする、年のところに月を入れてしまいました。先方に戻して訂正印をいただくというご迷惑をかけたことがあります。

安江 幸いなことに大きな失敗はありません。会長の仕事は外部との仕事も多く、外からの連絡は多いのですが、約束の日時や場所だけは忘れないようその場でメモを取り、なにを差し置いても会長に伝えてスケジュール帳に書きこんで置きます。

加藤 設計のアシスタントは社内のコミュニケーションだけで済みました。資材の調達となると、社外と社内の双方の調整が必要です。買う側の立場だけで物事を進めようすると、うまくいかない場合もあります。調達先の立場にも配慮しなければ、ここ一番で助けてもらえないこともありますから……。

Q これからの意気込みを語ってください。

安江 総務の仕事は多岐にわたります。ほかの担当者の仕事についてももっと細かいところまで理解を深め、さまざまな業務に関われるようにしたいと思います。これまでの仕事の延長線上だけではいけないとちょっと反省しています。

福德 経理の仕事も幅が広いということが少しずつ分かりました。先日消費税のセミナーに参加させていただきました。こうしたインプットをアウトプットに変えられるようもっと勉強したいと思っています。私は産休を2回取りました。そこで思ったのは「戻っていける場所がある」という安心感でした。今後はもう少し会社の役に立ちたいと思っています。

加藤 これまではどこかで上司が守ってくれました。これからは自分で解決していける力を身に付け、他の人を助けられる存在になりたいと思います。一昨年、「女性活躍推進セミナー」に参加させていただきました。私に欠けていた向上心を持った女性たちを大勢目にしました。女性も頑張らないと世の中は変わらないのだと知りました。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先※	
上場取引所	株式会社名古屋証券取引所 市場2部 (コード6655)
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告のホームページアドレス	http://www.toyo-elec.co.jp/

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

※ 株主名簿管理人および特別口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日以降の連絡先は下記となります。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1

電話 0120-232-711(通話料無料)

郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱29号

ホームページ リニューアルオープン

この度、皆様によりわかりやすく情報をお伝えすることを目指して、ホームページの構成・デザインを刷新し、スマートフォン、タブレットでも快適にご覧いただけるようになりました。

今後とも、内容の充実を図るとともに、わかりやすく最新の情報を発信してまいります。



<http://www.toyo-elec.co.jp/>

お問合せ先

東洋電機株式会社

〒486-8585 愛知県春日井市味美町2-156
TEL.0568-31-4191 FAX.0568-31-8096

この報告書は植物油インキを使用しております

